

テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

## FF14 備忘ログ 期間限定クエスト

# 速報「守護天節」 コンチネンタル・サーカス来訪!



黒衣森の木々の1本、そのまた無数に空いたウロの中の1穴から、鋭いクチバシで一片の真実をつつき出す「週刊レイヴン」主筆のグッドフェローです。「守護天節」が近づく今日この頃、街に現われた旅芸人の一座とは? 速報をお届けしましょう。

2013年10月18日 ~ 11月1日

#### 奇妙な風体の旅芸人たち

聖ダナフェンに聖ランドフル、聖ラフィメー……その徳の高い行いと清き心を称えられ、死後、十二神の聖人に列せられた守護天たち。リーヴプレートのステンドクリスタルに描かれていることもあって、冒険者たちには特に馴染みの深い存在だろう。

そんな聖人たちの善行を記念した「守護天節」の季節がやってきた。

伝承によれば、この時期になると聖人たちは十二神によって天上の宮殿に招かれ、夜ごと宴に興じるという。それ故、この季節は夜になると聖人の加護が弱まり、地上には魔物たちが跋扈すると伝えられているのだ。こうした伝承から、いつしか人々の間では「守護天節が近づくと、日暮れ前に家に帰り、魔物が入り込まぬよう固く門扉を閉じる」という習慣が生まれたのである。

とはいえ、律儀にこの習慣を守っていたのも今や昔。

最近では、守護天に成り代わり魔物を退治してやろうと意気込んだ冒険者たちが剣を振り、魔法を放ち大活躍を見せている。都市民たちに至っては、「守護天節」の夜に現れるという伝承上の「カボチャの魔物」に似せた飾り付けを行い、天上の宴もかくやという祭りを楽しむ始末。恐れを抱くどころか、楽しい祭りの季節となっている。

そんな祭りをさらに盛り上げようというのか、我らが都市に魔物に扮した奇妙な旅芸人の一座がやって来た。カボチャ頭の団長に率いられた一座の名は、「コンチネンタル・サーカス」。大陸を横断して各地で公演を続けているという彼らは、いったいどんな出し物を見せてくれるのだろうか？

街中で彼らの姿を見かけたならば、立ち寄って見物して見るのも悪くないだろう。

オリバー・グッドフェロー

## 守護天節の妖しい夜

怪しい旅芸人： やあ冒険者、こんなイイ夜に眠くなっちゃいけないだろうネ。……これはいったい、ナニゴトかって？

今年も「守護天節」の時期がやってきたのサ！

「守護天節」っていうのは、聖人サマを称える日。オイラたちは、それを盛り上げてきた旅芸人の一座……

コンチネンタル・サーカスなんだ！

ああ、この格好はもちろん仮装だヨ。まさかホントにインブなわけ……ネエ？

ま、細かいことはイイじゃない。うちの「ダンチョー」が面白い衣装を配ってるから、みいんなで守護天節の夜を楽しもうヨ！ ケケッ！

さあ、寄ってらっしゃい見てらっしゃい！ コンチネンタル・サーカスによる、楽しい「守護天節」の催しだヨォ！



ダンチョー： ようこそ新たな冒険者様、お目にかかれて光栄です。今宵は愉快的乱痴気騒ぎ……

頭の中身をカラッポにして、楽しもうではありませんか。

なに、聖人を奉る日といえど、畏れることはございません。守護天節の間は毎夜、天の聖人も宴にふける……

古いおとぎ話にはそうあります。

宴の間、地上では聖人の加護が弱まり、魔物たちが猛威をふるうとか。ゆえに昔は、守護天節の夜は外出を控えたものでした。

しかし、ヒトが臆病だった時代は去ったのです！ 今のあなたがたは、どんな魔物より猛々しい。

妖しい夜こそトキメクのが、冒険者のサガでしょう？

私もちは、そんなヒトビトの一興にすべく、亡者の衣装をご用意しました。恐ろしい姿で騒ぎ明かせば、奮える魔物も近寄りますまい。

さあ、哀れな魔物に代わり、楽しい夜をはじめましょう。



## 守護天節はお菓子と共に

ダンチョー

ダンチョー

では、さっそくゲームをいたしましょう。  
長い夜に必要なのは、ちょっとの刺激と甘いお菓子……。

うるさい通化師

うるさい通化師

グエエ…………。

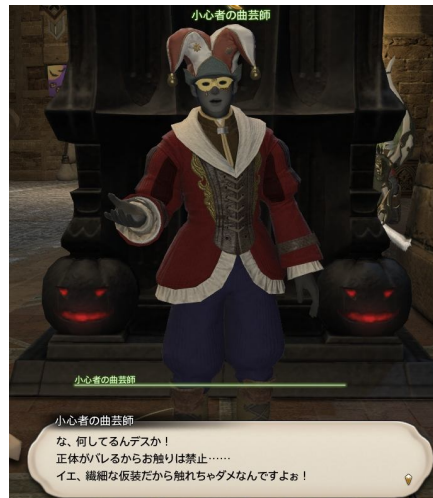
カソウ！ カソウ！ ウソじゃない！

プリンじゃないからイジメな！

うるさい道化師： ツツクな！ ツツクな！ ぷるぷる揺れる！！ 三歩さがって ハナレテ見てろ！



小心者の曲芸師： ひぎゃああッ！？  
な、何してるんデスカ！ 正体がバレるからお触りは禁止…… イエ、繊細な仮装だから触れちゃダメなんですよ！  
ああもう、びっくりして心臓が落ちかけました……。ほらあ……目玉だってこんなにズレて……あれ？  
お菓子のカゴの中身が足りない！？ 貴女が驚かすから、ぶちまけちゃったじゃないデスカあ！  
ううっ……足元に落ちてないデスカ？



小心者の曲芸師： ど、どうしましょう……。ひとまずここは目玉を配って……でも2つしかないし……。  
アアッ、ありがとうございます！ もっとしっかりせねばと思うのデスカ、冒険者に囲まれると、つい緊張してしまって……。  
では、貴方にもキャンディをひとつ。なかなか良い驚かしっぷり、参考になりました。  
いつか荒野で再会したら……実践させてもらいますね？

小心者の曲芸師： ううっ、あっちもこっちもヒトだらけ……。辺境の出にはつらいデスカ。この作戦、やっぱりちょっと無謀では……！？

陽気な旅芸人： アンタもキャンディが欲しいのか？ 残念ながら、オイラの両手はすっからかん。イタズラするだけ骨折り損だヨ。  
驚かすなら隣のオ……「無口な大道芸人」にしろ！ アイツはとにかくうっかり者で、叱られてばかりだから、  
叫んだくらいじゃ驚かないがネ。  
むしろ褒められるのが珍しいのサ。「拍手」なんてされた日にゃ、アイツきっと仰天するぞ？  
ケケッ、まったくカワイイお馬鹿だよオ！



無口な大道芸人： オオオ……？  
オオオ！ オオオオオオオ……！

陽気な旅芸人： まだまだ拍手がたりないヨ～！ お馬鹿をノセたきゃ、お馬鹿になって、もっと「称賛」してやりナ！

無口な大道芸人： オオオ……？  
オオオ……？  
オッ……オッ……ウオオオオオオオオオオオオオオ！ オレ、ホメル！？ オドロキ！！  
キブン、イイ！ キャンディ、ヤル！ オオオオオオオオン……………！

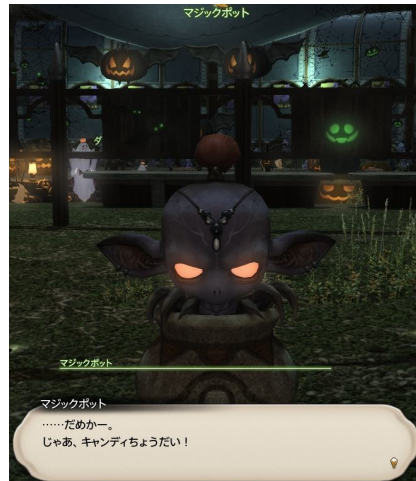
無口な大道芸人： オオオ……オオオオオオ……！

陽気な旅芸人： いや～、都市っていうのもたまにはイイネ！ 座長のアイツは気を揉むだろうが、端役は気楽なものですヨ……ケケッ！

マジックポット : エリクサーちょうだい！  
……だめかー。じゃあ、キャンディちょうだい！  
わーいわーい！ もっとちょうだい！

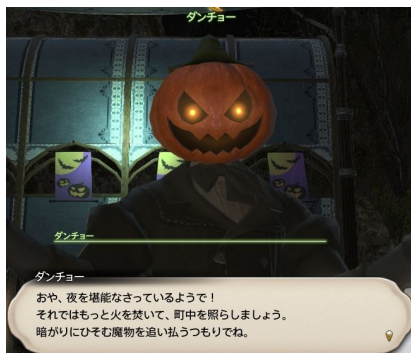
マジックポット : キャンディ、もっとちょうだい！  
いいね！ いいね！ もっとちょうだい！

マジックポット : もっとちょうだい！  
わーいわーい！ ありがとう！ おれいにクッキーあげるー！



## 守護天節に嗤うランタン

ダンチョー : しめしめ……。みんなすっかりお祭り気分そうですね。これなら、日の出まで持ちそうだ……。  
おや、夜を堪能なさっているようで！ それではもっと火を焚いて、町中を照らしましょう。  
暗がりにひそむ魔物を追い払うつもりでね。  
私の頭が見えますか？ これは、守護天節の時期に現れるという、伝説のカボチャお化けを模したもの。  
同じようなランタンが、町のあちこちにございます。「怪しい旅芸人」から「ボムの親指」を受け取り、  
火が消えているランタンを点灯させてください。  
魔物が容易に手出しできぬよう、ひっそり隠したランタンもありますゆえ……。 たーっぶり、時間をかけてお探しください。



怪しい旅芸人 : ランタンを点灯させたいって？ それじゃ、この「ボムの親指」を持っておいきヨ。  
点灯していないランタンは、5つくらいあるんじゃないかな。亡者の衣装をズルズルさせて、探しまわってみるといいい……ゲケッ！

ダンチョー : ゲケッ、ずいぶんお早いお帰りですね……。本っ当に、全てのランタンに火を点けました？ ズルをなさってはいませんか？  
コホン……失礼いたしました。冒険者様が優秀だと、こちらも張り合いますね。ええもう、本当に……。  
も、もちろん、お楽しみはまだありますとも！ 宵の闇が明けるまで、町で騒いでてください。  
あなたのような方は特にね……。

## 守護天節とグリダニアのおかしな一座

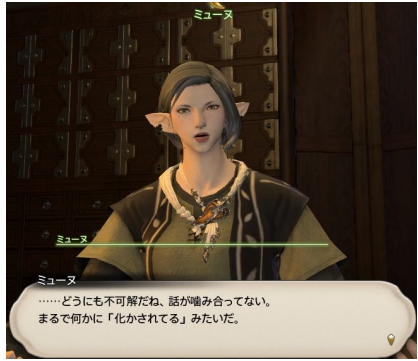
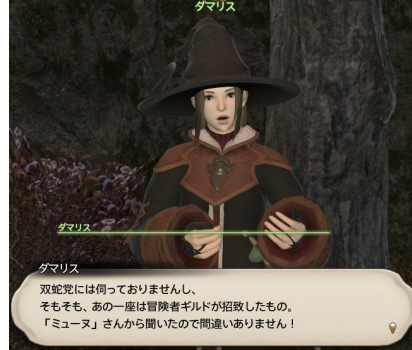
**ダンチョー**： お菓子集めやランタン探しが、こんなに早く終わるとは！ あなた、なかなか厄介ですねえ。  
お次の遊びはどうしたものか……まいったぞ……。  
……おやア？ ランタンがひとつ余っていますね。想定外ですが、ちょうどいい。  
これを灯り不足の場所に置いて、点灯しててください。  
さっきやった？ 雑用じゃないか？ ま、またまたア〜、もちろん豪華な景品つきですとも。  
秘蔵の仮装衣装を出すと言ったら……興味あるでしょう？  
それなら、まずは「怪しい旅芸人」から火をもらうのです。いや〜、今年の守護天節は実に愉快！  
魔物を倒しに行く暇ありませんね……ケケッ！

**怪しい旅芸人**： アレッ、まだ余ってるランタンがあったのかい？ ゼーンぶ設置したはずなんだケド……。  
まあイヤ、この「ボムの親指」で点灯させてきておくれ。もっと衣装をズルズルさせて、ゆっくりゆっくり……いってらっしゃい！

**????**： クス……クスクス……暖かい火をありがとう……。貴方たち、面白いことしてるのね……。  
**カボチャからの声**： ねえ、貴方……？ わたしによく似た、おかしな子たち……。どこから来たのか知っている？  
わからなければ聞くといいわ……。この町を守るヒトたちに。クス……クスクス……楽しい夜ね……。

**ウファヌ大牙士**： 「町を守るヒト」……？ 確かに我々双蛇党は、グリダニアを守っているが……。  
ああ、例のコンチネンタル・サーカスの話か……。だとしたら、ほかを当てるべきだろう。双蛇党は今回の催しに関与していないからな。  
魔物の仮装だなんて不謹慎な一座だと思ったが、幻術皇様のお許しは得ているらしい。  
道士の「ダマリス」様から、そう連絡をいただいたぞ。

**ダマリス**： 旅芸人の一座を幻術皇様が認可なさった？ それを私が双蛇党に伝えた……？ あ、ありません、きっと何かの間違いです！  
双蛇党には伺っておりませんし、そもそも、あの一座は冒険者ギルドが招致したもの。  
「ミューヌ」さんから聞いたので間違いありません！



**ミューヌ**： 残念だけど、僕の一存でこんな催しはできないよ。それに、今回の主催は双蛇党じゃないのかい？  
ウファヌ大牙士がそう言っていたんだけど……。  
……どうにも不可解だね、話が噛み合っていない。まるで何かに「化かされてる」みたいだ。  
こうなると、一座自体が怪しいな。団員たちについて、妙だと思ふことはなかったかい？ 何か、あの団長を問い詰める方法を……。  
そうだ、この「いたずらスパークラー」を使ってみなよ。ものすごい音がするから、驚いて尻尾を出すかもしれない。  
せっかくの祝日に、物騒な話じゃないといいけど。

**ダンチョー**： フギャッ、ナニゴト？  
ウボア〜、どうしてワタシにイタズラを！？ 思わずスキンチェンジを解いちゃったじゃないですかア！



ダンチョー：ウウウ……こうなっては誤魔化せません。いかにもワタシらは本物の魔物。仮装した一座だなんて、真っ赤な嘘でございます。あわわわ……脱まないでくださいヨォ！　ここで暴れるつもりなんて、これっぽっちもないんだから。いやね、聖人の加護なんて馬鹿げてますが、守護天節の夜はヒトが閉じこもるもんだから、暴れ放題だったんですヨ。なのに最近の冒険者ときたら、そんな風習おかまいなし。ワタシらがちょっと騒ぐと喜々として狩りにくるんだから、たまったもんじゃありませんヨォ！

迎え撃とうにも青息吐息、たばになっても敵わない！　だから町にもぐりこみ、祭りにかこつけて、アンタたちを足止めしてたってワケです。

……けれどカワイイ抵抗もここまで。正体がバレたからには、血祭りにあげられるんでしょう？　お菓子を配ってただけなのに……ヨヨヨ！

冒険者サマ、後生です！　今だけイイコにしていますから、見逃してくださいヨォ！

……アリヤ、イイの？　本当に？

さっすが優しい冒険者サマ！　魔物のお菓子もそこそこ甘いが、アンタの慈悲にや敵いませんトモ！

ヨシヨシ……故郷で震える仲間のためにも、次はバレないようにしないト。まったく、どいつがボロを出したやら……。

エッ、ランタンの魔物？　伝説のカボチャお化けじゃあるまいし、そんな仲間はいませんヨ。

……さっき話した？　そんな、アレが本当にいるはずは……！　でも、もしかして……いやまさか。

ま、まあ、今宵は闇が濃くなる守護天節です！　不思議のひとつもありましょう。

勇猛果敢な冒険者でも、暗がりにはご用心を！　……ケケッ！

????：クス……クスクス……おかしな子たち！　お互いに、楽しい夜を満喫しましょうね……クスクス……。

